



バンコク便り



1. はじめに

タイでは、暑期から雨期へと気候が変わる時期に入り、朝や夕方激しいスコールが降る事が多くなってきています。気候の変化とともに湿度も上昇しており、平均70%程度の湿度で非常に蒸し暑い日が続いています。

2 ビジネス情報

(1) タイの2015年4月の訪日外客数が10万人を突破

日本政府観光局（JNTO）によると2015年4月の訪日外客数が単月過去最高の176万4千人を記録。タイからの訪日もソンクラーン（タイの旧正月休暇4月13～15日）の影響で増加し、東南アジア市場では初めて単月で10万人台を突破したとの事です。

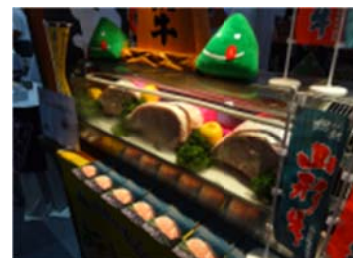
(2) 東急百貨店が、6月19日にタイ2号店をオープン

東急百貨店はバンコク東郊外に位置するシーナカリンの大型ショッピングセンター「パラダイス・パーク」の1・2階を賃借し、タイ2号店をオープン。パラダイス・パークの利用者はタイ人が9割で、中～高所得層が多く、東急百貨店は初年度の売り上げは約7億バーツ（約26億2,500万円）を目指すとしています。

※1バーツ=3.75円で換算

(3) 5月20日～24日タイフェックス2015開催

5月20日～24日、バンコク市内で国際食品見本市の「THAIFEX2015」が開催。同見本市は、タイ商業省国際貿易振興局が、タイ商工会議所と見本市運営大手ケルンメッセと共催にて実施している、タイでも最大級の食品展示会。今回はタイや中国、日本、韓国、ベトナム、マレーシアなど34か国の食品、飲料、製造技術、小売り、フランチャイズなど、関連企業約1,600社が4,000ブースを出店。同局の発表では、期間中の入場者数は13万人（前年比25%増）、取引額は総額82億8,000万バーツ（約310億5,000万円）と、当初見込みの55億バーツ（約206億2,500万円）を上回ったとの事。山形からは県食肉公社が出店し、メインの山形牛試食には人だかりが出来ると等、注目の高さを感じました。 ※1バーツ=3.75円で換算



(4) アサンサービス日本酒プロモーション

5月26日、タイの日本食レストランやスーパーへ酒類などを卸しているアサンサービスが、日本酒をメインとした展示会をバンコク市内のホテルで開催。日本から当社取引先約40社の酒類製造や食品メーカーが出店。山形からも、米沢の新藤酒造、寒河江の月山酒造、鶴岡の竹の露酒造の3社が参加しました。

3. 5月20日東根市タイさくらんぼプロモーション開催

5月20日タイ日本大使館公邸において、当行コーディネートの下、東根市主催によるさくらんぼプロモーションが開催されました。当日は、在タイ大使館の佐渡島大使の他、約40名のバイヤーが出席し、さくらんぼの他、日本酒、ジュース、つや姫おにぎりや蕎麦（乾麺）などをご賞味頂きました。土田東根市長はじめ主催者側は、地元食材への高評価の声に、さくらんぼ以外の農産品（加工食品）についても今後さらに強くタイへアピールしていきたいとの手応えを感じているようでした。また今回あわせて行われた現地高級百貨店「セントラルチットロム」での試験販売も堅調な売り上げを示す等、富裕層の反応も良好で今後期待のつながる取組みとなりました。



【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、軽部 023-626-9050

バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンデスクトレーニー）山岡 +66-(0)9-2249-1176